

自らの健康に気付き、考え、生涯を通じて実践できる児童の育成

～コロナ禍における歯・口の健康づくりを通して～

茨城県取手市立寺原小学校

本校は、茨城県の最南端に位置する取手市中部にあり、交通の便が良く、周囲を住宅に囲まれています。校訓「明るくなかよく 正しく」、学校経営の基本理念「笑顔あふれる学校づくり『みんなで創ろう！笑顔あふれる 寺原小』」のもと、教育活動を行っています。歯と口の健康づくりにおいては、関係機関と連携しながら、コロナ禍でできることを模索しながら取り組んでいます。

令和3年度の主な取り組み

児童会活動を通して

全ての委員会が、歯と口の健康を推進する活動に携わっています。その一部を紹介します。



保健委員会では、定期的に歯ブラシチェックを行っています。



図書委員会では、図書室に歯や口の健康に関する本の紹介コーナーを設けました。

掲示委員会が中心となり、歯や口の健康に関する掲示コーナーを設置しました。



歯や口のけがの防止



出会い頭の衝突が心配される箇所に「ストップマーク」を貼ることにより、一時停止を促し、けがを防いでいます。

職員研修を通して

学校歯科医から歯や口のけがやむし歯について指導を受けました。



歯科衛生士から正しいブラッシング法を学びました。

職員研修で懸案事項とされた、給食後のブラッシング法の改善に向け、衛生用品会社が配信する歯みがきソングの動画を活用し始めました。

家庭や地域との連携



夏休みの課題として、児童が保護者に相談しながら「かみかみメニュー」を考えました。入賞作品は校内に掲示しました。その中から給食として適切なものは、市学校給食課の協力を得て、今後、取手市内の小中学校に給食として提供される予定です。